

「LiquiForm」をディスプレイポンプ型容器に採用

資生堂は、「ボトル製造」と「中味液充填」をワンステップで実現することで環境負荷を軽減する製造技術「LiquiForm（リキフォーム）」をディスプレイポンプ型容器にも採用し、環境負荷軽減だけでなく、化粧品ならではの容器の魅力や心地よい使用感につながるデザイン性、持ちやすさや使い勝手といった機能性を同時に実現する化粧品容器を開発した。



今回、ボトルを「リキフォーム」による成形でリキフォームで作ることで、現行品から製造したレ容器単体のプラスチックフィル容器を、使用量を約56%、CO₂外容器で包んだ二体構造も排出量（温室効果ガス排出量）を約48%削減することが可能だ。今後は、この容器を活用した商品をプレスティージブランドなどで展開していく。

同社は、2022年に世界で初めて「リキフォーム」を採用したサステナブルな化粧品容器を開発した。そこで、現行のサイズ感やデザインを踏襲させ、ポンプの付いた硬い素材の容器上部をこの柔らかく、柔らかなプラスチックでできたレフィルに差し込む形状にするために、落下

強度や中味の耐光性、ディスプレイポンプ型ならではの中味の吐出のしやすさ、プラスチック量の削減など複数の課題を解決している。

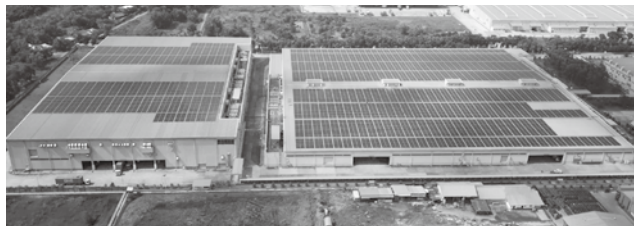
人間の手の大きさと本体容器的サイズのバランスなど、人間工学の観点からも検討を重ね、実際にパイロット品を試してもらうことで、手になじむ最適な形状の開発に成功した。

資生堂は、化粧品容器のデザイン性と機能性を両立させた新しい容器について、日本と中国の20〜34歳の女性130名（日本64名、中国66名）を対象にアンケート調査を実施した。

花王インドネシアカラワン工場での5.0MWの太陽光発電設備を稼働

花王は、2040年までにカーボンゼロ、2050年までにカーボンネガティブの目標を掲げる中、2025年5月より、花王インドネシア（PT Kao Indonesia）のカラワン工場（西ジャワ州カラワン工業団地）にて、花王グループ最大規模となる5.004MWの自家消費型太陽光発電設備の運用を開始した。

花王インドネシアは、主にインドネシア国内向けに衣料用洗剤やベビ



備は、オンサイトのコーポレートPPA（Power Purchase Agreement）電力購入契約であり、「追加性」を持つため、社会全体の再生可能エネルギーの拡大にも貢献することができる。

コーセー「DECORTÉ 白樺の森植樹イベント」を初開催

コーセーは6月3日、ハイプレスティージブランド「コスメデコルテ」が白樺の森林保全と地域創生を目的として北海道美深町（ひふかちよう）と進める「DECORTÉ 白樺の森プロジェクト」の一環として、「DECORTÉ 白樺の森植樹イベント」をDECORTÉ 白樺の森（北海道中川郡美深町）にて開催した。

と連携した森林教育の実施や自然資源を活用した観光への支援などを通じて、美深町の地域創生に貢献している。

6月5日の環境の日に合わせて、6月3日にDECORTÉ 白樺の森にて、「DECORTÉ 白樺の森植樹イベント」を、協定締結後初のイベントとして、自然保護に向けた森林づくりと美深町との連携強化を目的に実施した。

冒頭の挨拶には、コーセーDECORTÉ事業部グループマネージャー 大塚康介氏、美深町長 草野孝治氏が登壇し、取り組みの意義を説明した後、同社社員のほか、同社と取引のある北

海道上川地区の化粧品専門店、くどう（北海道旭川市、工藤貴弘社長）、コスメさとう（北海道名寄市、佐藤康男社長）や、美深町立仁宇布小中学校の生徒8名が参加し、白樺の苗木合計100本を植樹した。

今後、コーセーDECORTÉ事業部グループマネージャー 大塚康介氏は、自然環境保護につながる町有林の森林づくりへの支援や、教育・観光のサポートを通じた美深町の地域創生に貢献していく。

また、将来的には、この森から採取した白樺樹液で商品を作ることで、原料づくりから生産・販売まで一貫して関わる持続可能なモノづくりのサイクルを築いていく。

コスメデコルテは、社会課題解消に向けた「DECORTÉ SUSTAINABLE ACT IONS」の一つとして、商品に使用している原料の自然保護と地域創生を目指した「Sustainable Ingredients Project」を、2024年9月25日に立ち上げた。

その第一弾の取り組み



林づくりを進め、原料となる白樺林の保護に貢献するとともに、教育機関と連携した森林教育の実施や自然資源を活用した観光への支援などを通じて、美深町の地域創生に貢献している。

6月5日の環境の日に合わせて、6月3日にDECORTÉ 白樺の森にて、「DECORTÉ 白樺の森植樹イベント」を、協定締結後初のイベントとして、自然保護に向けた森林づくりと美深町との連携強化を目的に実施した。

今後、コーセーDECORTÉ事業部グループマネージャー 大塚康介氏は、自然環境保護につながる町有林の森林づくりへの支援や、教育・観光のサポートを通じた美深町の地域創生に貢献していく。

また、将来的には、この森から採取した白樺樹液で商品を作ることで、原料づくりから生産・販売まで一貫して関わる持続可能なモノづくりのサイクルを築いていく。

今後、環境課題を考えた。また、使用後の気持ちの平癒では、91%の人が「触っていると気持ち良い／心地よい」と感じ、84%の人が「癒される」と回答した。これらの結果から、4週間の使用を通じて、気持ちが良い方向に変化することが確認された。

今後、環境課題解決に向けたアクションに取り組んでいく。